

公開講座フェスタ2022 講座内容（9月21日時点）

新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、講座が中止となる場合もあります。
あらかじめご了承ください。

講座番号(特) 特別講演

文化都市・大阪 —その歴史とレガシーを2025 大阪・関西万博につなぐ

日時 11月3日(木・祝) 13時15分～14時45分

講師 国立民族学博物館長／2025年日本万国博覧会協会シニアアドバイザー
吉田 憲司（よしだ けんじ）

「大阪は商都と呼ばれる。あれは、東京の連中が、大阪をおとしめようとして言い始めたことです。大阪は、昔から文化都市であった」。その発言のあと、会場からわっという歓声と拍手が起こりました。

大阪市内でおこなわれた、初代 国立民族学博物館長・梅棹忠夫の講演会での、梅棹の発言です。言われてみれば、その通りです。今回の私の講演では、文化都市・大阪の歴史を振り返り、そのレガシー（遺産）を2025年大阪・関西万博にどう生かしていくのかを考えます。

講座番号 1 心学明誠舎

世界的劇場街「道頓堀」の歴史をひもとく

日時 11月2日(水) 10時00分～11時30分

講師 道頓堀ミュージアム並木座 仕掛人 / 一般社団法人 心学明誠舎 理事
山根 秀宣（やまね ひでのぶ）

空堀、北浜でのまちづくりで大阪に本来有る魅力を再生してきた講師が、道頓堀の知られざる歴史から、なぜ「世界に誇る劇場都市」と言えるのかを語る。道頓堀ミュージアム並木座まなびコースで伝えている内容を、裏付けも紹介して深掘り解説します。

講座番号 2 四天王寺大学

インドネシア・バリの文化や社会

日時 11月2日(水) 13時15分～14時45分

講師 四天王寺大学 人文社会学部 国際キャリア学科 教授
宮脇 敏哉（みやわき としや）

インドネシアのバリ島における文化や社会を中心に説明します。インドネシア・バリの観光や環境問題などをマハサラスワティ大学の教育をとおして解説します。そしてジャカルタやバンドンなども紹介します。

講座番号 3 宝塚大学

「医(薬)食同源」を科学する - 自然治癒力の源(みなもと) HGF(肝細胞増殖因子)と食の関係 -

日時 11月2日(水) 15時15分～16時45分

講師 宝塚大学 宝塚ウェルネスアカデミー 講師
大城 日出男（おおしろ ひでお）

古来より食物と健康の関係は「医(薬)食同源」という言葉で伝えられてきました。また、私たちの体には“自然治癒力”という怪我や病気を自然に治す力が備わっています。この「医(薬)食同源」と「自然治癒力」の関係をHGF(肝細胞増殖因子)の研究からご紹介したいと思います。

講座番号 4 大阪大谷大学

大阪の中世お墓事情

日時 11月3日(木・祝) 10時00分～11時30分

講師 大阪大谷大学 文学部 歴史文化学科 教授
狭川 真一 (さがわ しんいち)

大阪府内で発掘調査された中世(鎌倉時代～戦国時代頃)の墓地遺跡や現在の墓地や寺院に伝来する石造物(主に五輪塔)を通して、当時の墓地成立事情を探ります。

講座番号 5 大阪経済法科大学

日系アメリカ人の知られざる物語：多文化共生・アイデンティティ・異文化変容

日時 11月3日(木・祝) 15時15分～16時45分

講師 大阪経済法科大学 国際学部 准教授
本多 善 (ほんだ たくみ)

日系アメリカ人の歩みを紹介し、アメリカにおける多文化主義論争の中での日系アメリカ人の表象を紹介します。そして、ツールレイク強制収容所の資料と証言から、多文化共生・アイデンティティ・異文化変容について考えます。

講座番号 6 大阪青山大学

“幸齢”な自分らしい暮らし方

日時 11月10日(木) 10時00分～11時30分

講師 大阪青山大学 健康科学部 看護学科 准教授
中村 晶子 (なかむら しょうこ)

いつまでも健康で元気に暮らすためには、自分で工夫していくことも必要です。そのための自分らしい暮らし方の工夫について、「健康を視点」に一緒に考えてみましょう。

講座番号 7 大阪芸術大学

あそびの広場 (いたずらのすすめ)

日時 11月10日(木) 13時15分～14時45分

講師 大阪芸術大学 芸術学部 美術学科 教授
壺井 勸也 (つぼい かんや)

現代に於ける児童・子供のあそび場は、既成の玩具や遊具によって画一化され、つまらないものとなっている。特に、私達の生活が欧米化され便利になったことは、以前の社会よりスムーズ・スピーディになったことは否めない。子供にとって楽しい遊び場をみんなで考えてみたい。

講座番号 8 大阪樟蔭女子大学

ジャパニーズ・ホラーの50年

日時 11月10日(木) 15時15分～16時45分

講師 大阪樟蔭女子大学 学芸学部 国文学科 准教授
奈良崎 英穂 (ならさき ひでほ)

日本の怪奇小説・ホラーは1970年代以降大きく変化しました。古典的な制約を逃れ、オカルト流行の時代を経て、2000年前後に訪れる空前のホラー・ブーム。そこから下火になっていく20年間で日本のホラーがどう変化してきたのかをお話しします。

講座番号 9 帝塚山学院大学

乱世を生きる -『莊子』を読む-

日時 11月14日(月) 13時15分~14時45分

講師 帝塚山学院大学 人間科学部 教授

彭 佳紅 (ほう かこう)

『莊子』は奔放な思索の文学であり、与えられた「今」を問題にし、「乱世」をどう生きるか示唆する哲学の書でもある。万物斉同、「性」(さが)、解脱と真の「自由」とは何か。『莊子』の魅力を福永・興膳の愉快な和訳と原文の朗読実演を通してともに楽しみたい。

講座番号 10 園田学園女子大学

子どもたちにきれいな空気を提供するには、どうしたらよいか

日時 11月15日(火) 10時00分~11時30分

講師 園田学園女子大学 人間健康学部 総合健康学科 教授

磯田 宏子 (いそだ ひろこ)

日本の喫煙率は年々低下していますが、子どもたちにたばこの煙のない、きれいな空気を提供するには、どのように取り組めばよいかを参加者の皆様と一緒に考えていきたいと思えます。

講座番号 11 桃山学院大学

スポーツの文化史 —なぜオフサイドは反則なのか—

日時 11月15日(火) 13時15分~14時45分

講師 桃山学院大学 社会学部 社会学科 教授

大野 哲也 (おおの てつや)

私たちが思い浮かべることができる近代スポーツの多くは18世紀から19世紀にかけてイギリスで誕生しました。そのようなスポーツが、なぜ、これほどまでに世界中に普及したのでしょうか。その理由を文化史という側面から考えていきます。

講座番号 12 太成学院大学

ICT デバイスを活用した健康・スポーツ活動の実践法

日時 11月15日(火) 15時15分~16時45分

講師 太成学院大学 人間学部 助教

村田 和隆 (むらた かずたか)

スマートフォンやスマートウォッチなどのICTデバイスが普及した昨今、健康・スポーツ分野では様々なアプリやサービスが利用できるようになりました。健康・スポーツ活動を実施・継続するための実践法をご紹介します。

講座番号 13 追手門学院大学

英語を学ぶということ

日時 11月16日(水) 10時00分~11時30分

講師 追手門学院大学 共通教育機構 教授

中村 都 (なかむら みやこ)

英語は戦後日本で、常に社会の関心を集めてきました。「英語は必要」と思っている人は少なくなく、小学校でも正規の科目になっています。そうした英語は、世界的に見てどのような言語なのか、日本での英語の学び方の移り変わり、などを考えていきます。

講座番号 14 大阪女学院大学・短期大学

ウクライナの問題から考える～「国際の平和と安全」～

日時 11月16日(水) 13時15分～14時45分

講師 大阪女学院大学 国際・英語学部 教授

樋川 和子 (ひかわ かずこ)

国連憲章第1条は、「国際連合の目的は次のとおりである」として、その第1項で、「国際の平和及び安全を維持すること」と明記しています。「国際の平和と安全」とは何か? 「軍縮・不拡散」という考え方も紹介しつつ、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

講座番号 15 神戸学院大学

血液型はヒトの体でどのような役割をしているの?

日時 11月16日(水) 15時15分～16時45分

講師 神戸学院大学 栄養学部 栄養学科 准教授

坊池 義浩 (ぼういけ よしひろ)

ヒトの血液型は皆さんご存知のとおり ABO 血液型がありますが、それ以外にもたくさんの血液型が発見されています。血液型はどのような役割をしているのか? 血液型は一生変わらないのか? など、医療にも大きく関係している血液型について、皆さんの今後に役立つお話をしたいと思います。

講座番号 16 認定 NPO 法人 大阪府高齢者大学校

紫式部とライバルたち

日時 11月17日(木) 13時15分～14時45分

講師 認定 NPO 法人 大阪府高齢者大学校 講師

林 和清 (はやし かずきよ)

2024 年大河ドラマの主人公となる紫式部。彼女はどのような人生を送ったのでしょうか。誰と結婚し、いつ「源氏物語」を書いたのでしょうか。そして同時代を生きたライバル 清少納言、和泉式部、赤染衛門などの女性達に対してどんな思いをもっていたのでしょうか。1000 年前に生きた天才的な女性の実像をわかり易く面白くお話します。

講座番号 17 阪南大学

最期まで自分らしく過ごすために — 終末期医療に望むこと —

日時 11月17日(木) 15時15分～16時45分

講師 阪南大学 経済学部 経済学科 教授

西本 真弓 (にしもと まゆみ)

我が国は、高齢者が寿命を迎えることにより死亡者数が増加し、人口が少なくなっていく多死社会という局面を迎えつつあります。多死社会を迎えるにあたって、今後、どういう対策が必要なのか、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。